

総合特別区域の進捗に係る評価  
〔国際戦略総合特区〕

令和3年度

つくば国際戦略総合特区

〔指定：平成23年12月、認定：平成24年3月〕

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(4+3.3)/2=3.7$

3.7

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	連携企業数	100%	5
2	事業・産業創出(起業、ライセンスアウト、製品化等)	73%	3
3	事業化に伴う株式公開(IPO)件数	-	-

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 1 + 4 \times 0 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 4$

4.0

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.3

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(4+2+4.3)/3=3.4$

3.4

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.3

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

- ・新計画の初年度であることに加えコロナ禍の影響もあり、あまり進捗が芳しくない項目があるものの、当該分野の将来性を考えるとある程度肯定的な評価ができるのではないかと考えた。また、当該特区内にある国際輸送インフラ(成田空港、茨城港)あるいは国内輸送インフラ(茨城空港)は以降の転換を考えるともっと積極的に関わっていくように調整することが望ましいと考える。
- ・BNCTの取り組みを進めて成果につなげていること、ゲノム編集作物の商品化等、具体的な成果につなげていることは高く評価される。金融制度、税制等積極的な事業展開を一層展開することを期待する。
- ・BNCTは内外から注目・期待される医療技術にて、今後の実用化に向けての発展を期待する。
- ・TGIの仕組みは、他地域・領域におけるプロジェクト管理にも大変参考になるものと思われる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(3.7+3.4+4 \times 2) \div 4=3.8$

3.8

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。